

ホープ



松木 泰樹氏 (38歳)

アクセス専務

信州大学を卒業後、新潟で旅行代理店の仕事をして2003年に、父が興した不動産業を手伝うために戻ってきました。もともと接客が好きな性分なので分野の違いも気にはなりません。翌年には宅建資格を取って、わが社が標榜する“街角不動産屋”の一員として、売買から賃貸仲介、管理など不動産のあらゆる相談に応じています。

昨年、足をけがしてから回数は減っていますが、バスケットボールやサッカー、ラクロスなどで心身をリフレッシュしています。あと、音戸の高台から見える瀬戸内の多島美には心が癒されますね。

新築や転居など、不動産はお客さまの人生の転機というか大切な節目にかかわります。大事な時に

立ち会うことには大変な責任を負います。それだけに自分たちがまず信用されないと話になりませんから、不動産コンサルのプロとして、どんな相談にもきめ細かく対応する。そうすることでお客さまに喜ばれ、納得してもらえるわけで、常に業界動向に気を配り、研修にも積極的に参加し、自身のスキルアップは欠かしません。

不動産イコール街づくりの視点から呉青年会議所（JC）や複数の街づくりの団体にかかわり、各種イベントにもボランティアでお手伝いをしています。不動産に限らず、呉を元気にするための努力は惜しみません。将来は呉で不動産といえば、アクセスと言われるよう頑張りたいですね。

支

崎、福岡などで宅配・営業を経て2011年4月に来広。

遠い地域へも販路拡大したい」
提案するつもりです。今後、